



人気漫画「進撃の巨人」に登場する主要キャラクター3人の等身大銅像が日田市大山町の大山ダムでお披露目されました。

① 銅像を大山ダムに設置することで、物語のどんな場面を再現したのでしょうか？

作中の序盤、主人公たちは壁に覆われた世界で数十ある未知の巨人と戦う。その物語のイメージとダムを重ね合わせ、少年期に初めて巨人に遭遇した場面を再現した。

② 作者で大山町出身の諫山創さんは銅像の設置について何と話していますか？

「銅像をきっかけに大山、日田、そして大分を多くの方に知ってもらいたい」、「僕の物語を育ててくれた地元にも少しでも恩返しできたらうれしい」と話している。

③ 銅像の設置を企画した「進撃の日田まちおこし会議」は今後、どんな活動を計画していますか？

クラウドファンディングで予想額の倍近い資金が集まったことから、今後も新たな銅像を制作するなど地元のにぎわい創出に充てる計画。

除幕式でお披露目された進撃の巨人の銅像。左端が作者の諫山創さん＝日田市大山町の大山ダム、撮影・鎌手美和



「進撃」キャラ立つ 大山ダムで漫画の等身大銅像お披露目



銅像の前で記念撮影に応じる諫山さん

【日田】人気漫画「進撃の巨人」に登場する主要キャラクター3人の等身大銅像が8日、日田市大山町西大山の大山ダムでお披露目された。除幕式には作者で同町出身の諫山創さん34が駆け付け、完成を祝った。同日から一般公開（無料）も始まった。

銅像は主人公のエレンと、ミカサ、アルミン。少年期に初めて巨人に遭遇した場面を再現した。大山ダムの壁面は高さ約70。作中の序盤、主人公たちは壁に覆われた世界で数十ある未知の巨人と戦う。その物語のイメージとダムを重ね合わせた。制作は銅像が専門の「四津井」（富山県高岡市）が手掛けた。今後、JRR日田駅前広場にリウネ

除幕式があった日田市の大山ダムには全国各地からファンが駆け付けた。作者の諫山創さんは「大山町で育っていないけれど、作品は生まれなかつた」と制作秘話などを披露した。

作品の人気に比例して、クラウドファンディングで予想額の倍近い資金が集まった。今後も新たな銅像を制作するなど地元のにぎわい創出に充てる。トクシヨで諫山さんは「山に囲まれた小さな町から出て遠くへ行きた。その時の気持ちだが、ありありと進撃の巨人には描かれている。僕の物語を育ててくれた地元にも少しでも恩返しできたらうれしい」と思いを語った。

【日田】人気漫画「進撃の巨人」に登場する主要キャラクター3人の等身大銅像が8日、日田市大山町西大山の大山ダムでお披露目された。除幕式には作者で同町出身の諫山創さん34が駆け付け、完成を祝った。同日から一般公開（無料）も始まった。

銅像は主人公のエレンと、ミカサ、アルミン。少年期に初めて巨人に遭遇した場面を再現した。大山ダムの壁面は高さ約70。作中の序盤、主人公たちは壁に覆われた世界で数十ある未知の巨人と戦う。その物語のイメージとダムを重ね合わせた。制作は銅像が専門の「四津井」（富山県高岡市）が手掛けた。今後、JRR日田駅前広場にリウネ

伊の銅像を設置する予定。除幕式には広瀬勝貞知事ら約200人が出席。諫山さんは「18歳まで大山町にいた。銅像をきっかけに大山、日田、そして大分を多くの方に知ってもらいたい」と話した。

市の新たな観光資源にしよと有吉団体が「進撃の日田まちおこし会議」（織田荘太郎代表）が企画。昨夏、クラウドファンディングで支援を呼び掛けたところ、目標の1400万円を上回る約2968万円が集まった。銅像は4月に設置する予定だった。新型コロナウイルスの影響で延期していた。（首藤福功）